

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	あゆみ保育園	施設種別	保育所 (旧体系 : )
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成21年12月3日

総 評	<p>昭和53年の開設以来、31年の歴史がある「あゆみ保育園」は、福知山市東部に位置し、近隣には警察署、教育機関など公共施設が多くあります。</p> <p>「元気で明るい素直な子」を保育目標に掲げ、「和顔・愛語」をモットーとし、全職員が日々おだやかに、優しい言葉を心掛けています。また、基本的な生活習慣の獲得などの日常の保育実践においては、一人ひとりの子どもを尊重した保育を目指しています。</p> <p>園庭には安全に考慮した遊具が設置され、週3日安全な遊び場として、近隣の子育て世帯に開放しています。</p> <p>また、保育園が有する機能を地域に還元することを目的として子育て支援センターを併設し、育児相談・育児サークル支援・育児講座・遊び場の提供等の取り組みを行っています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の就業状況を把握し、福利厚生や健康管理に積極的に取り組まれています。</li> <li>・ 運営上必要な書類が、的確に保存され管理が行届き、形式も見易さを優先するとともに、見直しと引継ぎが行われています。</li> <li>・ 園舎内は整理整頓が行き届き、清潔に保たれています。保育室の通風・換気に配慮をし、子どもが心地良く過ごす事ができる環境となっています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明示されていた職員の教育・研修にかかる基本姿勢に基づき、職員ごとの研修目標を立て、研修計画を策定されるとなお良いでしょう。</li> <li>・ 子どもがより自発的に活動できる自由なあそび環境の工夫や散歩、社会体験等の取り組みがなされるとなお良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	A	A
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育の理念・基本方針・保育目標が明文化され、職員会議・園内研修において職員に周知しています。また、利用者に対しては、入園時に「園のしおり」を配布し説明を行うとともに、玄関に保育目標を掲げています。

・保育課程は、保育理念・基本方針・保育目標に基づき、地域性や保護者の意向を把握した上で組織的に策定しています。年間指導計画・短期指導計画・クラス指導計画・個別指導計画はそれぞれの整合性を図り職員に周知しています。保護者には面談の機会を設けるなど、折に触れ周知しています。また、それらを定期的に見直し、子ども一人ひとりの発達過程や状況に応じた保育を実施しています。

・管理者は、自らの役割と責任について文書化するとともに、園内研修において自らの立場を明確にし、職員に周知しています。また、遵守すべき法令等を把握するため、研修会・勉強会に参加しています。

・管理者は、常に保育サービスの質の向上に意欲を持ち、日々全ての書類に目を通し、保育現場に立ち会うなど指導力を発揮しています。また、保育園運営のための必要書類は的確に管理、保管しています。書類の書式も見やすさを優先し、改良と引き継ぎを確実にしています。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	B	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

### [自由記述欄]

- ・社会情勢と経営環境を把握するために同一法人の3ヶ園（小鳩保育園、長田野保育園、あゆみ保育園）は連携して、情報交換するように努めています。また、各園が協力して人材育成を計画的に行っています。
- ・職員の就業状況や意向を把握し、積極的に福利厚生に取り組んでいます。
- ・職員の教育・研修に係る基本姿勢は明示されています。個別の研修目標を立て、研修計画を策定するとさらに良いでしょう。
- ・地域の交流としてもちつき等、行事を実施しています。また、学校、専門機関との連携も図っています。地域の中の保育園として役割をより明らかにするためには、ボランティアの受け入れに対して必要な体制を確立されるとな良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

- ・利用者からの意見等に対し迅速に対応し、改善を行い職員に周知しています。利用者のプライバシー保護規定・マニュアルを整備しています。
- ・苦情解決の仕組みを明文化し、利用者の目に付きやすいように掲示し、周知に努めています。
- ・前回受診した評価結果に基づき、保育の質の向上に向けた改善計画を作成し、事業内容に活かしています。
- ・子どもの身体的状況や家庭状況を園所定の様式により把握すると共に、入園前の面接によって確認しています。また、個人情報管理規定・個人情報保護規定に基づき利用者に関する管理体制が整っています。
- ・定期的かつ必要に応じて開催される職員会議・ケース会議において利用者の情報を職員間で共有し、課題、対応等を検討しています。
- ・転園・卒園にあたる保育の継続性については、保護者や転園先の園の意向に基づいて対応しています。園としてはプライバシー保護の観点から必要最小限にとどめる注意を払っています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	B	B
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

- ・子どもの健康管理に関するマニュアルは整備されています。日々の健康状態を把握するため送迎時の面談や連絡ノートを活用し、保護者から子どもの健康状態を把握し、全職員に周知しています。
- ・健康診断、歯科健診を定期的実施し、その結果は保護者に伝えていきます。また、全職員に周知し、保育に反映しています。
- ・感染症対応マニュアルが整備され、連絡ノート裏面に「感染症の登園基準」を記し、お知らせボードへの掲示や連絡ノート等において速やかに情報提供し、早期対応・予防策を講じています。
- ・食事を楽しむため園庭でのランチタイムやレストランごっこなど工夫を凝らし、栄養士や調理担当者が食事の様子を観察し献立や調理に活かしています。
- ・アレルギー疾患をもつ子どもに対しては、専門医の指示により適切な対応をしています。
- ・園内外とも常に清潔に保たれ整理整頓が行き届いており、通風・換気・室温に配慮しています。また、毎朝温度・湿度を測定し、記録して子どもが心地よく過ごすことのできる環境になっています。
- ・保育士は「和顔・愛語」を常に心がけ、基本的な生活習慣の自立を目指し、子ども一人ひとりに状況に合わせた保育に努めています。
- ・園庭の広さに対して、遊具の数が多い印象を受けますが、園庭は整備され、遊具の安全点検も行っています。今後は、安全性の維持とともに、子どもがより自発的に活動できる自由なあそび環境への工夫や散歩、社会体験等の取り組みがなされることなおいでしょう。
- ・家庭的な雰囲気の中で、子ども一人ひとりの生活リズムに配慮しながら長時間保育を行っています。

IV-2  
子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている		

[自由記述欄]

- ・ 日常、保護者との情報交換は送迎時の対応や、連絡帳を通じて行っています。
- ・ 幼児については年1回個人懇談を行っています。乳児については参観日にも懇談を行っています。
- ・ 保育日誌・個別観察記録・保育連絡簿・児童票などに支援の具体的な情報を記録し情報の共有化を図っています。また、相談ルームが完備され、いつでも相談や面談ができる体制になっています。
- ・ 子どもの記録は、他機関との連携に際し、園長・主任保育士の指導確認により作成しています。また、小学校との連携は、のびのび福知っ子5歳児スクリーニングを通じ、保護者の参観を交えた取り組みをしています。
- ・ 虐待対応マニュアルを整備し、早期発見に努め、疑いある場合は関係機関に照会・通告を行う体制が整っています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・ 衛生管理マニュアルが各箇所別に整備され、リーダーによるチェック管理が徹底して行われ、定期的に見直しをしています。調理場・水周りに限らず園内の環境は、常に清潔で整理整頓が行き届いています。
- ・ 安全・事故防止に関するマニュアルを整備しています。「ヒヤリ・ハット」の事例を活用し、事故防止対策を徹底しています。遊具・玩具等についてもチェックリストにより定期的に点検を行っています。
- ・ 事故や災害発生時に対応できるマニュアルを整備しています。園内には防犯カメラを設置しており、職員は防犯ブザーを全員携帯し、近隣の警察署と不審者対策の取り組みを行っています。